



キュートな都市型EV、いよいよデビュー

SUBARUの人気ステーションワゴンも6年半ぶりにフルモデルチェンジ

スマートでキュートなHonda e

ホンダのHonda e (ホンダイー) は全長3,894mm、全幅1,752mm、全高1,512mmというコンパクトなボディサイズに丸みを帯びた愛らしいエクステリアが印象的な電気自動車です。都市型コミューターをコンセプトにしており、1充電あたりの航続距離はWLTCモードで283km、JC08モードで308kmを走行します。インテリアではディスプレイやメーターを一直線に配置したワイドビジョンインストルメントパネルが目をとくとともに、スマートフォンとのペアリングで、様々な操作を可能とするなど、従来のクルマにはない新感覚のコミューターといえます。10月30日(金)の発売が今から待ち遠しいです。



ドイツのレッド・ドット・デザイン賞で2020年度の「ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」と、「レッド・ドット賞」をダブル受賞しました。



5つのスクリーンを水平配置するワイドビジョンインストルメントパネルはこれまでのクルマのインテリアにはないデザインです。



キュートなフロントフェイスが印象的なHonda eですが、リヤビューもシンプルなデザインが好感を呼びます。ボディカラーは全7色を設定。左画像はプレミアムクリスタルレッド・メタリック。

ハンズオフ運転を実現

スバルのステーションワゴン、レヴォーグが6年半ぶりのフルモデルチェンジが発表され、8月20日(木)から先行予約がスタートしました。注目は何といてもスバルの先進安全運転技術、新型アイサイトの搭載です。アイサイトXと呼ばれる最新バージョンは、運転支援の機能を拡充し、50km/h以下の走行時におけるハンズオフ運転を可能としました。

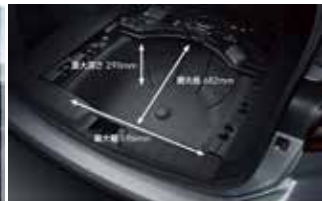
運転支援機能の充実もさることながら、新型レヴォーグはワゴンの持つユーティリティ性を更に向上させています。とりわけ、カーゴルームは大型サブトランクを設けた容量に加え、多彩なアレンジによる積み荷の収納性、そしてパワーリヤゲートの設定など、使いやすさを格段に高めています。新型レヴォーグの正式発表は10月15日(木)に予定されています。



精悍な顔つきと美しいフォルムで、ますます魅力を高めた新型レヴォーグ。



アイサイトXではハンズオフ運転が実現しました。



カーゴフロアボード下に備えた新設計のサブトランク。

東京海上日動のおクルマ購入サポート制度をご利用ください。

自動車販売店へご訪問する前にご相談ください。